

# 伊賀市 地域おこし協力隊

～1年間の活動を経て、今思うこと～

伊賀市地域おこし協力隊は、住民自治協議会などとともに地域の課題解決や地域振興の取り組みを行っており、阿波地区に早川隊員が、丸柱地区に橋本隊員が着任して約1年が経過しました。

今回の特集では、隊員のこれまでの活動成果などについて報告します。



▲木材の加工から組み立て、点火まですべての工程を子どもたちに体験してもらいました。

9月23日に開催した、「キャンプファイヤーをつくろう！」は、自然に囲まれた大山田ならではの自然学習として地元の子どもたちと一緒につくることで、地元への愛着を深めてもらいました。

## 活動その1

1年間でさまざまな年間行事や事業に参加させていただき、阿波の魅力を体験させていただきました。  
また、伊賀の国大山田温泉さるびでのイベントを2度開催し、個人では狩猟免許を取得しました。



阿波

早川

侑志 隊員

早川くんの印象は、とにかくいつも元気いっぱい。これまでの社会人経験がない分、手探りでやってきた1年間だったと思いますが、今後の活動力には大変期待しています。  
これからも若さを生かして地域づくりに精一杯取り組み、将来にわたってこの土地に根づいてくれるとつれいす。



阿波地域住民自治協議会  
会長 藤森 莊剛さん



▲仕事終わりなどに定期的に集まり、地域振興について話し合っています。

未来を担う自分たちが阿波地域をより活発で過ごしやすい田舎にしようという思いから、地域の若者で構成された「阿波組」を発足しました。

## 活動その2

1年間の活動を振り返って

早川隊員



1年目  
というこ  
とで、とにかく

地域行事に参加して、阿波の風土や人柄に触れる機会を大切にしました。

何をすればよいかかわからず、1人で迷走することも多々ありますが、地域で出会った人たちとともに「阿波組」を発足し、仲間づくりができたことは大きな進歩だと思えます。

橋本隊員



地域の人と開いた茶話会では、参加者に茶碗を持ち寄っていただき、その茶碗にまつわるエピソードを披露してもらいました。

生活の中に当たり前のようにある伊賀焼の魅力を再認識してもらうきっかけづくりができたことがよかったです。

# 丸柱

はしもと 橋本

れお 玲麻 隊員



伊賀焼の技術習得をはじめ、窯元を訪問して話を伺ったり、作陶の研修会などに参加しました。

また、地域の祭りなどへの参加を通じて、丸柱地域の豊かな自然や歴史文化を体感できた1年でした。

## 活動その1

「窯出し市」に合わせて、まちづくり協議会と協働で、伊賀焼とカレー、コロッケのセット販売を行いました。

そのほかにも、地元の人と茶話会を開催するなど、伊賀焼に関する情報収集・情報発信に努めました。



▲茶話会では、参加者がそれぞれ自慢の器を持ち寄って抹茶をいただき、交流を深めました。

## 活動その2

週に2回、丸柱地域内の窯元で伊賀焼作陶の技術を学んでいるほか、商品の魅力的な見せ方やブランド化の勉強会にも参加しています。



▲使うことを考えたものづくりとして、器の寸法などを綿密に計算しながら作陶しています。

## 丸柱地域まちづくり協議会

会長 前川 勇雄さん



橋本さんは、何事にも積極的に頑張り屋さんです。また、自分の思ったことを正確に進めていける力も持っています。

地域を盛り上げ、その情報を発信していくためには、地域の方々の協力が欠かせません。

みんなで手を取り合って、丸柱の魅力を発信していきたいですね。

## 岡本市長に 1年間の活動について 報告しました



10月23日(月)、橋本隊員は、伊賀焼を中心とした地域振興への取り組みなどを市長に報告しました。

橋本隊員は、報告の中で、窯元で学んだ作陶の技術を生かしてろくろで作った抹茶茶碗を披露しました。

市長は「伊賀焼の技術をしつかりと習得し、地元の人とのつながりを大切にしながら失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦してください。」と激励していました。

阿波地域の魅力は「人柄」だと思えます。地域の人柄に触れられる機会を増やす活動を今後も行っていきます！



日々の活動の様子はフェイスブックページからご確認ください♪



伊賀市地域おこし協力隊  
フェイスブックページ  
※市ホームページからもアクセスできます。

### 【問い合わせ】

○ 地域づくり推進課

☎ 22・96800

FAX 22・96994

○ 大山田支所振興課

☎ 47・11150

FAX 46・17664

○ 阿山支所振興課

☎ 43・1543

FAX 43・1679